

第3回高島市図書館協議会（要約版）

開催日時：令和6年2月27日（火）15：30～17：10

出席：國松会長、平松副会長、山本（恵）委員、梅村委員、吉川委員、福原委員、井上委員、
菅井委員、本村委員

事務局：山本教育総務次長、玉木館長、志村主監、原田

欠席：山本（永）委員、田川委員

* 以下、協議事項内容と質疑応答等。（○＝報告内容 ●＝委員意見 ⇒回答）

2. 協議事項：

(1) 高島市立図書館の利用状況について（令和5年度4月から1月まで）

○ 来館者数、貸出冊数・人数、予約件数とも、4月から8月までは大体増加傾向。コロナが5類に移行したことが関係していると思われる。

9月から11月の3ヶ月間の増加については、昨年度の同期間に、今津図書館の臨時休館（照明LED化工事）していたことから、今年度は増えたものと思われる。

12月から1月について、全体的にやや減っている。

○ 令和元年度から令和3年度までの地区別の各館の利用状況のグラフ（4～7ページ）について。7ページの下の部分に、この期間内で臨時休館した期間等の一覧を参考に挙げた。

● 今津館が、昨年工事の関係があるからその年の利用が減っているという理解でいいのか？

⇒ 今津館については、2年続けて工事による臨時休館が合計5カ月間もあり、利用の減としてあがってきていると考えている。

● 安曇川も昨年工事をしているが、そちらも影響が出ているということか？

⇒ そう考えている。

(2) 令和5年度蔵書点検状況について（8ページ）

○ 本年度の不明資料件数：今津図書館4点、朽木図書サロン2点、安曇川5点。

● 11月23日時点の件数ということだが、その後、見つかったのか？

⇒ お伝えした件数は、最近（1月31日）の数。蔵書点検終了時よりは、だいぶ見つかったりする。

● 不明本の件数を見ると、地域館は目が届くのか、マキノ、高島、新旭は、本年度ゼロなのはすごいなと思う。

● 点検してから2ヶ月くらい過ぎ、途中で戻ってきたってところだが、戻り方に特徴みたいなものはあるのか？ 一週間ごとの発見の経過みたいな数字は取っていないのか？

⇒取っていない。

- 図書館によっては、貸出時の処理ミスとかが、そのへんが数字に結構出てきたりする。最初多かったのが減ってきたということになると、職員の処理ミスということになるが、これは起こりうることなので、対策を考えておかないといけない。

⇒ 返却された本については、2回返却処理をしているが、貸出時の漏れも防ぐように今後も注意をしていく。

不明本の数としては非常にいい数字というか、きちんと利用もされており、戻ってきた場合の処理もきちんとされているということがよくわかる数字だと思う。

(3) 今年度今津図書館臨時休館中（12、1月）の利用状況について（9ページ）

- 今年度の今津館空調設備改修工事で臨時休館した2カ月間、今津館利用者は、どこの図書館を利用されたか、比較的近場の館を利用されたのか、雪が少なかったので、少し遠方の館を利用されたのかを調べ、結果をグラフ化した。

人数で見ると、主に安曇川館を利用され、マキノ館と新旭館についても、ある程度の利用が見られ、年齢別で見ると、30代はマキノ館、新旭館の利用が多く、40代は新旭館への利用が多いと傾向が見られた。 ※利用登録住所が今津地域の図書館利用カードの使用動向で抽出。

- グラフから、新旭館の利用の特色として、子育て世代や30代・40代の方が関心のあるジャンルの収集に力を入られているので、40代とか60代とかの方の利用が多いのかと個人的には思っていた。図書館としては、この結果についてなにか分析されているのか？

⇒ 年齢別の表を見ると、0～15歳と30代のグラフの出方が似ていることから、親子でマキノ館、新旭館、安曇川館を利用されたということではないかと考えている。

また、70代の安曇川館の利用については、近場のマキノ館や新旭館を利用されると考えていたが、そうではない結果を意外に思っている。買い物で安曇川方面へ行かれたついでや、マキノ新旭に比べ、安曇川館の方が、蔵書数が多いこともあったのかもしれない。

- 年齢別貸出人数で、今高島市は子どもの読書活動で頑張っていると思うが、各館の年齢別の利用人数はこれ（グラフ）くらいなのか？

⇒ 去年度の第3回協議会で、令和3年度資料として年齢別のデータを出した。それによると朽木館の場合、40代、50代の方が利用されている。また、小学生の利用が、全体の15%となっているが、小学校には毎月訪問貸を行い、子どもたちが個人のカードで貸出をしているので、その数も利用人数としてあがっている。

- (1)～(3)をまとめて。全体的にはコロナも明けて、利用も戻りつつあるということ。全国的に見て、高島市と同じような人口規模の自治体は100近くあるが、中でもたぶん高島は、例年通り、上位トップ10に入るくらいの利用はされており、利用の実態としては、これまでと大きく変わらないだろうと思われる。図書館がよく利用されているという自治体の上位は、単館または2館というところが占めている中で、高島市だけが複数館、6つ図書館を抱えながらよく利用されている図書館であるということなので、ぜひこれを今後も維持していただきたい。

(4) 図書館でできる新たなサービスについて（意見交換）

前回に引き続き、できるサービスとしてはどういったものがあるかについて意見交換。

(5) その他

- 来年度、第4次高島市子ども読書活動推進計画の策定に向けての協議が始まる。

子ども読書活動推進協議会の委員任期が令和6年3月末で満了となることに伴い、引き続き図書館協議会から委員の選任をしてほしいという依頼文書が来ている。

現在、図書館協議会からは井上委員に出ているが、来年度は、第4次の子ども読書活動計画を立てるために、検討委員も1名出してほしいとのこと。

この二つは、兼ねてもよいということなので、2名選任して出いただくか、1名で兼ねて出いただくかどちらかになる。

事務局側で、どなたにお願いするかを検討させていただき、ご本人にご内諾をいただいてから、皆さんに今日の会議の報告をお送りする際に文書ではらせていただきたい。

※委員より異議なしの回答。